

# 福島駅前交流・集客拠点施設整備基本計画(※) 概要①

※以降「整備基本計画」という

公会堂と市民会館に替わる施設として、市民の文化芸術活動の促進とコンベンション機能の強化を図る

## 施設のコンセプト

多様な交流・にぎわいを創出するふくしまコンベンション

### コンセプトを実現するための3本の柱

市民による  
日常的な利用が  
活発な施設

市民活動の拠点



生涯学習活動・文化活動

まちのにぎわいを  
生み出す施設

にぎわい創出の拠点



コンサート

物産展・展示会

立地ポテンシャルを  
活かした  
選ばれる施設

コンベンション機能の  
強化



大規模な式典・学術会議

(一部機能は市民センターに備わる)

※写真はイメージです

文化・芸術振興による  
生活の質向上に寄与する施設

生活の質向上  
地域コミュニティの創造

福島の魅力伝え  
福島らしさを表現する施設

県都にふさわしい景観  
福島の魅力表現

使いやすく  
誰にでもやさしい施設

全ての人が快適に  
バリアフリーに配慮

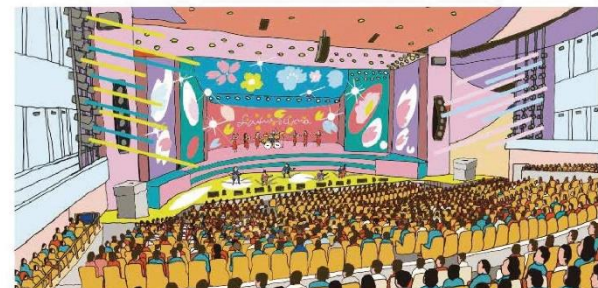
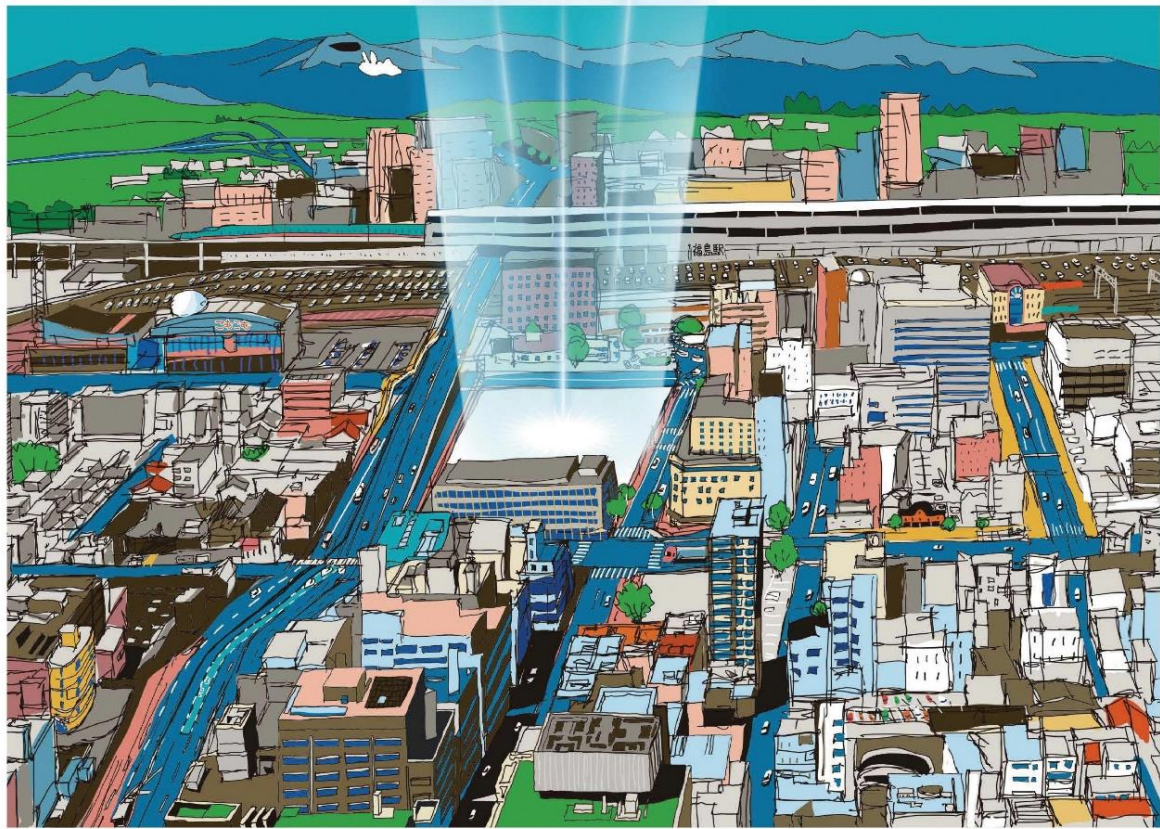
将来を見据えた  
適正な規模の施設

人口減少、少子高齢化を踏まえた  
経営的な視点

安心・安全な施設

安全な耐震性能、災害時における  
帰宅困難者等の一時受け入れも可能な施設

# 整備基本計画 概要②



## 駅前ホールとしては東北最大級<sup>(※)</sup>

### ワンストップサービスが可能なふくしまコンベンション

東京や仙台、山形方面からの新幹線停車駅であるJR福島駅前という立地に加え、施設内にバンケット、宿泊施設が併設され、利用者の移動負担を最小限にします。新幹線停車駅前という立地では東北地方にこれまでになかった規模の複合型コンベンション施設として、市内の既存施設では開催が難しかった大規模の学会や大会等の誘致が期待でき、たくさんの人々の交流が生み出されます。

(※)新幹線停車駅前に立地する複合型コンベンション施設としては、東北最大級の施設となります。

## 福島を伝える花のホール

### 福島らしさを表現し、文化芸術活動の拠点となるふくしまコンベンション

花見山を代表とする「花」の魅力表現するなど、市外・県外から訪れる方々に対し福島らしさを感じ取っていただくための工夫を施したホールとします。また、市民芸術活動の発表の場として多くの団体等に利用されてきた公会堂に替わり、幅広い世代の人々が充実した文化芸術活動を行うことができる施設とします。

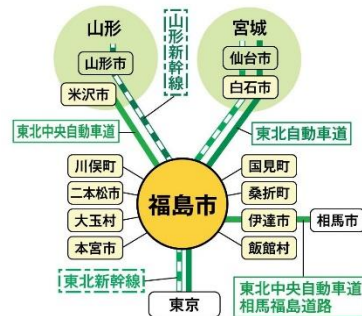
花のまちにふさわしい施設で、文化・芸術の振興を図ります。



## まずは、まちなかへ集合

### 気軽に立ち寄り、日常的利用できるふくしまコンベンション

市民団体・サークル等による文化活動、生涯学習活動など、日常的に人が集い、にぎわいを生み出す施設とします。また、共用空間は、市民活動の発表の場となるイベントスペースや、読書・談話ができる空間等、市民が気軽に集い、憩えるスペースとしての活用を検討します。誰もが気軽に利用でき、さらにはまちなかに人が集うことで、中心市街地活性化へとつながる好循環を生み出します。



## 多様な交流の創出

### 「風格ある県都ふくしま」として、広域的な拠点となるふくしまコンベンション

県庁所在地である本市は、福島・山形・宮城の3県にまたがる福島圏域11市町村の中心的役割も担っています。また、東北新幹線や山形新幹線をはじめ、東北自動車道、相馬福島道路、東北中央自動車道が整備され、多方面からのアクセス性が高い位置にあります。駅前に立地する本施設は、福島市民のみならず、広域的な利用にも大変利便性が高く、幅広い地域の人々が集う交流拠点とします。

## 利用の幅が広がる

### フレキシブルなイベント・展示ホール

#### 様々なイベントを可能とするふくしまコンベンション

イベント・展示ホールでは、全国の物産展や子育てイベント、グルメイベント、各種セミナーや学術会議に付随する企業展示やポスターセッション等、様々なイベントの開催が可能となります。催事の規模に合わせて、移動間仕切りにより分割した利用ができ、また、大ホールとあわせて使用することで、既存施設では開催できなかった大規模なイベント開催も可能となります。

# 整備基本計画 概要③

施設整備の基本方針を踏まえ、必要な施設構成や機能・規模を次のとおり計画します。

**規模** 約13,000㎡  
(共用空間を除く本施設全体の規模)

**特徴** 大ホール、イベント・展示ホール、練習室・会議室群の諸室を  
バランス良く備えたワンストップ型施設

施設構成	施設機能
大ホールエリア	<p>舞台、客席(1,500席程度。催事の種類に応じてフレキシブルな活用(客席数の変動)が可能な機能を検討。)、ホワイエ、楽屋等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大ホールは、ポップスやロック、ジャズ、吹奏楽等の音楽公演、演劇・舞踊等の公演、学会等多様な催事に対応できる多機能ホール。</li> <li>●舞台は、多彩な催事に対応できる広さの主舞台及び袖舞台を備えたプロセニウム形式。</li> </ul>
イベント・展示ホール エリア	<p>イベント・展示ホール、ホワイエ等(ホールとホワイエをあわせ1,500㎡程度)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●展示会や物産展をはじめ、多様なイベントに対応できる音響や照明等の機能を整備。</li> </ul>
練習室・会議室等 エリア	<p>練習室、リハーサル室、会議室等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●練習室や会議室は、可能な限り建物共用部と一体的かつ開放的に計画。</li> <li>●リハーサル室は、350～400㎡程度とし、移動間仕切りにより分割での利用も検討。</li> <li>●リハーサル室、練習室は状況に応じて会議室としても使用できるよう計画。</li> </ul>
共用空間・ オープンスペース等	<p>エントランスホール、広場、共用ロビー等。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地上階エントランスホールを開放的で華やかな空間構成とし、本施設と商業施設等を分断することなく、人の流れを上層階に導く機能を計画。</li> <li>●日常的なにぎわいの創出につながるよう、共用空間には、市民が気軽に集い・憩えるスペースを計画するとともに、小規模なイベントや展示空間としての活用を検討。</li> </ul>

# 利用シーンにおける整備基本計画との比較

基本計画におけるハイブリッドホールの利用		劇場ホール 約1,000席		イベントホール 約1,500㎡（約1,500人収容）		備考
考え方	利用シーン・特徴	開催可否	開催可となる条件	開催可否	開催可となる条件	
1. 福島らしさを表現し、文化芸術活動の拠点となる施設	① 市民活動の発表の場 (舞台芸術系)	○		△	ステージや舞台機構、音響等の設備が必要	
	② 市民活動の発表の場 (文化祭、展示系)	×		○		
	③ 花見山を代表とする 「花」の魅力を表現するホール	○		○		
2. 様々なイベントを可能とする施設	① 全国物産展や子育てイベント、 グルメイベント、各種セミナー等	×		○		劇場ホールは鑑賞型イベントに限定
	② 学会に付随する企業展示や ポスターセッション	×		○		劇場ホールは鑑賞型イベントに限定
	③ 催事の規模に合わせ 移動間仕切りによる分割利用	×		○		
3. ワンストップサービスが可能な施設	① 再開発エリア内にバンケット、 宿泊施設を併設					再開発においてバンケット機能を確保することを検討・調整
	② 新幹線停車駅前という立地を活かした 既存施設では開催困難な規模の学会や大会等	△	協賛企業向け展示スペースや ポスターセッションスペースが必要	○		
4. 「風格ある県都ふくしま」として広域的な拠点となる施設	① ふくしま田園中枢都市圏(9市町村)をはじめ 広域的な利用で幅広い人々が集う交流拠点	○		○		
5. 気軽に立ち寄り日常利用ができる施設	① 市民団体、サークル等による 文化活動、生涯学習活動	△	市民センター利用を基本とするが、 大人数のハレの利用など	△	市民センター利用を基本とするが 大人数のハレの利用など	市民文化団体・サークル等の日常的な活動は市民センターが担う
	② イベントスペースや読書、談話 など市民が憩えるスペース	○		○		

凡例： ○…開催可能    △…条件付きで開催可能    ×…開催困難

# マチニワ(八戸まちなか広場)

## 【施設概要】

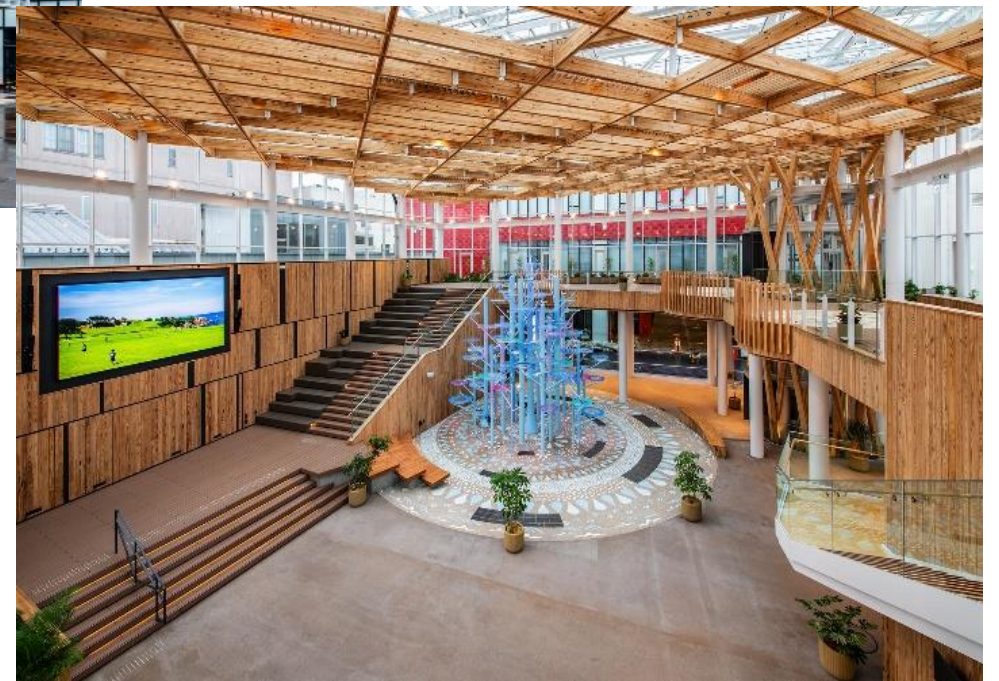
- ・建設場所 八戸市三日町21-1
- ・敷地面積 1,091㎡
- ・建物面積 790㎡
- ・延床面積 1,250㎡
- ・広場面積 約500㎡  
(参考:福島市まちなか広場 約1,400㎡)
- ・建物高さ 15m  
(地上2階、地下1階)
- ・建築工事費 約17億円
- ・整備内容 休憩・観覧のデッキ、  
備品倉庫、トイレ、植栽等
- ・供用開始 2018年度
- ・オープン時間 6:00~23:00



写真：八戸市ホームページより

## 《利用イメージ》

- ・日常的な利用  
マチニワは、街なかの「庭」のような役割を担うことから  
開放性と冬季間の利便性の両立を図ります。
- ・ハレ  
八戸三社大祭や八戸えんぶり、八戸七夕まつり等の地域を  
代表する祭りやイベントと連動した利用や、新たなイベント  
企画が期待されます。



## 《計画コンセプト》

### 「マチニワ ～にぎわい形成につながる新たな都市空間～」

- 居住者や来街者にとって魅力的で、生活を豊かにする  
サードプレイス(居場所)の創出
- はっちや周囲の民間施設をつなぎ、文化・芸術活動等が  
融合する洗練された空間の創出
- 小路、ヒト、情報が交わる空間として、地域コミュニティの  
再生に寄与する拠点の創出